

(令和7年度) 自己評価書		園番号	園名
		713	若草こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価		評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(１) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	・園の教育ビジョンや園経営についての考えを明らかにし、園長のリーダーシップを発揮する。 ・職員の共通理解を基盤に役割、協力体制が構築されている。 ・職員間の意思疎通を図り、風通しのよい職場環境をつくる。 ・保護者アンケート、学校関係者評価、自己評価を実施する。	・教育ビジョンを基に園運営の方向性を明らかにし、職員と共有を図った。 ・園務分担表を作成し、職員間で共有し、園運営に参画できるようにした。 ・ICTシステム「コドモン」を活用し、各会議の記録を職員間で共有し、共通理解を図れるようにした。 ・職員一人一人と面談を行い、より良い人間関係の構築に努めた。 ・保護者アンケートや園評価の実施により、園としての成果と課題を明らかにすることができた。	B	B	・全職員で園の教育ビジョンを共有し、園長のリーダーシップのもと取り組むことができたか。 ・職員間でコミュニケーションが図られ、協力体制が構築できているか。	・園務分掌を職員間で確認し、組織の一員として、各自が責任をもち、主体的に業務を遂行していく。 ・職員間で意思疎通を図り、連携・協働しながら組織運営にあたる。
		② 園経営目標・方針			A			
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			B			
		④ 園務分掌等の連携			B			
		⑤ 会議の運営と位置づけ			A			
		⑥ 会議の結果			A			
		⑦ 職場の人間関係			B			
		⑧ 園評価の実施			A			
	(２) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	・園内研修や公開保育等を継続的に実施し、教育保育の資質向上を目指す。 ・園の研究主題を設定し、実践、研究に取り組む。 ・園外研修に積極的に参加し、学んだことを伝え合い、実践に活かせるようにする。	・公開保育を実施し、参観のポイント明確にし、子どもの姿を肯定的に捉え、保育者の次の援助や環境構成につなげていけるようにした。 ・職員が園外研修に積極的に参加するとともに、研修での学びを園内で報告し、保育実践に活かせることができた。 ・全学年のミドル職員が園内研修の企画運営を行い、主体的に学び合えるようにした。	A	A	・保育の資質向上をめざした組織的・計画的な園内研修を実施できたか。 ・園内研修や公開保育を実施し、できるだけ多くの職員が参加できるような体制を整えることで、職員間の子ども理解につながった。	・園内研修の内容や方法を工夫しながら計画的に進め、研究テーマに基づいた子どもの見方や取り組みについて学びを深める。 ・園内外研修の学びを実践に活かし、保育の振り返りを継続し、園全体の教育保育の質の向上を目指す。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			B			
		③ 園外の研修への積極的参加			A			
		④ 園外研修内容の共有			A			
		⑤ 研修成果の普及			B			
	(３) 安全管理	① 安全計画の立案	・安全管理マニュアルをもとに安全計画・防災計画を立案し、職員の共通理解を図る。 ・災害発生時や緊急時に対応する訓練を実施する。 ・幼児や地域の実状に応じた安全指導の工夫を行う。	・子どもが安全に過ごせるように、年間を通して園内外の安全点検を実施し、その結果を基に改善を行った。 ・年間計画に基づき、災害や不審者に備えて避難訓練を実施し、避難の仕方が身に付くように取り組むことができた。 ・看護師による職員向け研修を実施し、AEDの使い方や救命対応の手順を確認した。 ・園児引渡し訓練の方法を職員間で検討し、実施した。 ・市の関係機関や地域と連携を図り、交通安全教室や防災教室、防災訓練を実施した。	A	A	・避難訓練や引き渡し訓練を実施し、職員の危機管理意識を高めることができた。 ・月1回の避難訓練や、交通安全教室等を通して、子どもが避難時の行動や交通ルールについて学ぶことができた。	・常に危機管理意識を持ち、園児の安全確保に努める。 ・引き続き、園児引き渡し訓練の実施方法を検討し、保護者との連携や意識向上を図る。
		② 防災計画の立案			A			
		③ 危機管理体制の整備			A			
		④ 安全指導の工夫改善			B			
		⑤ 家庭との連携			A			
		⑥ 関係機関との連携			A			
	(４) 保健管理	① 保健計画の立案	・健康安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くよう、家庭と連携しながら指導に努める。 ・日々の健康観察を行い、心のケアが必要な子どもや保護者については全職員で共通理解し対応できるようにする。 ・アレルギー対応を徹底する。	・日々の教育・保育活動や、薬剤師による手洗い教室を通して、子どもが自分の体や健康を意識しながら必要な習慣が身に付くようにした。 ・園医、薬剤師、看護師、管理栄養士と連携し、健康管理や衛生管理を行った。 ・食事提供については、衛生管理やアレルギー対応等、職員間で情報共有を図りながら日々安全に提供できた。	A	A	・担任、家庭支援推進保育士、看護師が連携しながら取り組みを進めた。 ・保護者アンケートで「健康にかかわる指導は適切にされている」に100％肯定的な評価を得た。	・子どもが自分の健康について意識がもてるよう、教材や指導方法を工夫する。 ・感染症対策、アレルギー対応について、職員間で確認し、危機管理意識をもって適正に行う。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備			B			
		③ 健康観察、健康管理能力の育成			A			
		④ 関係機関との連携			A			
⑤ 昼食（給食等）の衛生管理		A						
(５) 地域との連携	① 園情報の発信	・教育保育活動にかかわる情報を保護者や地域に発信したり、保育公開をしたりしている。 ・地域の教育力を保育に取り入れる。 ・小・中学校、地域の関係機関との連携を密にする。 ・学校評議員に意見を聞く機会を定期的に設ける。	・各おたより、でいあシート、ドキュメンテーション等を通して、園の取り組みや子どもの様子を発信した。 ・中学校区の小学校の先生と連携を図り、園内公開保育や人権の取り組みへの参加、小学校の授業参観、子ども同士の交流を行い、相互理解につながった。 ・地域の会議に出席し、各校園の取り組みや成果などを情報共有した。 ・学校評議員会を開催し、行事や子どもの様子を参観していただき、評価をいただいた。	A	A	・毎月発行する便りや掲示物、地域の会議等を通して、保護者や地域に園の取り組みや子どもの様子を伝えることで、園理解につながっている。 ・地域の学校園や地域の方と情報交換したり、園の活動に関わっていただいたりし、連携をもつことができた。	・地域の関係機関・幼稚園・小学校・中学校と情報交換を行い、園運営につなげる必要がある。 ・保護者や地域への情報発信を高めていく。	
	② 園(保育)公開			A				
	③ 小学校との接続・連携			A				
	④ こ幼保との連携			B				
	⑤ P T A ・保護者会の活性化			B				
	⑥ 地域教育協議会との連携			A				
	⑦ 学校関係者評価の実施			A				
(６) 施設・設備	① 保育環境の整備	・園内環境の整備と点検を行い、不備や危険箇所を把握し、改善に努めている。 ・施設設備の管理を適切に行うとともに有効活用できるようにしている	・遊具、施設の点検を実施するとともに、清掃や草刈り、木の伐採など環境整備を行い、安全に保育が行えるようにした。 ・修繕が必要な箇所は、課に要請したり職員で修繕したりし、改善に努めた。	A	A	・職員が協力し合い、園内外の清掃や整備、改善を行い、安全かつ快適な環境づくりに努めた。	・安全面を考慮し、今後も全職員で園内環境の整備や管理を行い、修繕が必要な場合は課と連携を取って改善していく。	
	② 施設設備の有効利用			B				
	③ 施設設備の管理			A				
(７) 情報管理	① 公文書の収受・保管	・各種文書を適正に作成、管理する。 ・個人情報について職員が共通理解し、適切に取り扱う。 ・電子媒体の適正な管理、運用を行う。	・個人情報やパソコン、カメラ等の取り扱いには細心の注意を払うことを注意喚起し、管理簿を作成し、適切に管理した。 ・機会をとらえ、保護者に個人情報の取扱いについて啓発した。	A	A	・全職員の個人情報の管理・保護に関する意識が向上したか。	・情報管理について全職員が共通認識をもつとともに、常に確認を行い、個人情報、電子媒体の管理・保護の徹底を図る。	
	② 公文書の作成			B				
	③ 個人情報の管理・保護			A				
	④ 情報の収集			A				
	⑤ 電子媒体の管理			A				